

至：権現山

丹沢湖近くまで下りたものの、両側が崖で、進行方向は落石防護柵が張り巡らされ、立ち往生してしまい救助を要請した。

道が分からず立ち往生

柵

登山口



66歳～71歳男女3人は権現山から浅瀬入口への下山途中で道に迷った。丹沢湖近くまで下りたものの、両側が崖で、進行方向は落石防護柵が張り巡らされ、立ち往生してしまい救助要請。通りかかった人が山道に詳しい地元酒店のご主人を呼んで、助けられた。

末端で尾根が広がった箇所は迷いやすく、そこを通過して尾根末端に出ると、丹沢湖に面した急崖の上でルートが分からなくなるという遭難事例が複数あった。冷静に探せばルートは見つかるはずだが、精神的にも追い込まれていて気が動転してしまうのかもしれない。

（本文参照）

あと少しで下山。しかし、急な崖と柵に目がとらわれ、焦ってしまう。国土地理院の地形図には登山道が記載されていない。こうなると、道標を見つけたり、現地判断で登山道を見つけるしか方法が無くなってくる。読図技術にもよるが、焦って急斜面を下り滑落するよりも電波が届くようなら、救助要請も必要と思う。